

2018
~
2019
年度版



聖隷クリストファー大学

国際交流ガイドブック

International Exchange Guide

韓国 ソウル市
● 韓国 安東市
中国 重慶市

インド ケララ州

シンガポール

オーストラリア パース市

アメリカ ハワイ州

アメリカ カリフォルニア州

アメリカ テキサス州

ブラジル サンパウロ市



保健医療福祉の総合大学

聖隷クリストファー大学

お問い合わせは[グローバル教育推進センター]へ

TEL 053-439-3263

ホームページ <https://www.seirei.ac.jp/iess/index.php>

学長・学部長メッセージ



大城 昌平
学長

世界をも射程にした「現代のクリストファー」へ

本学は、保健医療福祉の先端大学として、アジアを中心とした保健医療福祉の発展途上にある国々の人々に対し、積極的に国際貢献していくことを目指しています。皆さんには、世界をも射程に置いて、建学の精神である「生命の尊厳と隣人愛」と知の技で、人々の健康と安寧、幸福に貢献する「現代のクリストファー」に成長していただきたいと願います。

本学には、交流協定を結ぶ中国・韓国・シンガポール・アメリカ等の教育研究機関や、海外にある聖隷グループ施設での研修・実習のプログラムなどがあり、国際性を身に付ける教育環境が整っています。皆さん、海外研修や実習を通して、国外の多様な文化や価値観への理解と共感を持ち、グローバリズムへの志向性と国際的に活躍できる語学力・表現力を身につけてください。そして自身の専門性を国際的な視野でとらえ、世界の未来にも貢献する専門職業人に成長されることを期待します。Go out into the world!



横尾 恵美子
社会福祉学部長

今、海外を視野に入れているあなたに

この大学で学んでいる皆さんは、学生同士や教員、実習、ボランティア、アルバイトを通じて、多くの人と出会っているはず。そして入学前には考えられないほどの学びがあったのではないのでしょうか？

日本の中で、この小さな場所での考えられないほどの出会いを経験してきた皆さん、さらに自分の可能性を拡げてみませんか？

日本語圏を飛び出して、新たな出会い、挑戦を楽しんでみてください。そこには日本では気づくことのできない、壮大な学びと出会いが待っているはず。言葉の壁を乗り越えて、文化の異なる人々との出会い、それは新たな「知」の一步です。

新たな次代を担う皆さんが大きな翼で羽ばたいてくださることを期待しています。



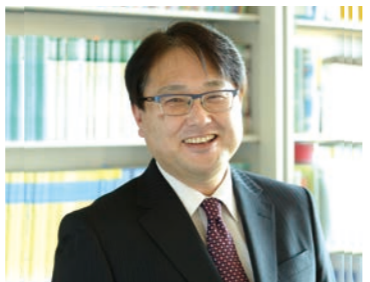
藤本 栄子
看護学部長

トビタテJAPAN! トビタテ浜松! 飛びたて三方原!!

あなたは、どこに向かって飛びためますか？

本学は、10年以上前から海外の大学と交流協定を結び、学生達が相互に行き来でき、活発に交流できる機会を提供しています。Chanceは身近にあります。あなたは、海外研修・実習等に参加した学生達に共通することは、何だと思えますか？

それは、「あらゆる方法を使って積極的にコミュニケーションをとること」、「相手の思いやりに気づき感謝すること」、「学ぶとは何かを考えるようになること」、「(受入れ時)暖かく大事に一生懸命もてなすこと」などです。若者が異文化に触れることは、考え方に変化を起こすような刺激的な体験になるようです。すばらしいですね。あなたも一歩踏み出してみませんか。



新宮 尚人
リハビリテーション学部長

“井の中の蛙大海を知らず” 目の前のスタンダードに疑問を持つこと

本学で学び、卒業の日を迎えると、いよいよ専門職業人としてスタートを切ることになります。臨床現場では、先輩諸氏の知識・技術・価値観を目の当たりにし、それを手本にしなが徐々に自分なりの専門職観を確立していくでしょう。しかし、一歩職場を出るとその外にはまた違う価値観を持った同様の存在があります。その集まりが日本の保健・医療・福祉の全体を形作り、各国の取り組みが世界の保健・医療・福祉を形作っているのです。すぐ目の前にあるものがスタンダードとは限りません。どうぞ大海に出て全体を眺めてみてください。

国際交流の最大の壁は言葉の違いと思われるでしょう。実はコミュニケーションの中で言葉の占める割合は10%以下といわれるように、身振り手振りや声のトーンなどで思いは伝わります。是非、楽しみながら交流をし、互いの思想や文化を共有してください。

海外研修・国際実習一覧

看・・・看護学部の学生対象
リ・・・リハビリテーション学部の学生対象
社・・・社会福祉学部の学生対象

海外研修

海外研修(シンガポール) | 全学年/9月(9日間)



シンガポール
ナンヤン理工学院
(交流協定締結校)

海外研修(中国) | 全学年/3月(9日間)



中国・重慶市
第三軍医大学
(交流協定締結校)

海外研修(韓国) | 全学年/8月(8日間)



韓国・安東市
カトリックサンジ大学
(交流協定締結校)

海外研修(オーストラリア) | 全学年/3月(9日間)



オーストラリア・パース市
イーデス・コーワン大学
(交流協定締結校)

国際専門研修

アメリカ国際看護研修 | 2,3年/3月(11日間)



アメリカ
サミュエルメリット大学
(交流協定締結校)

シンガポール国際リハビリテーション研修 | 全学年/8月(9日間)



シンガポール
シンガポール工科大学
(交流協定締結校)

アメリカ国際言語聴覚学研修 | 全学年/3月(10日間)



アメリカ・ハワイ州
ハワイ大学マノア校

国際実習

国際看護実習 | 4年/9月(2週間)



シンガポール
ナンヤン理工学院
(交流協定締結校)

国際福祉実習 | 全学年/2月・8月(2~8週間)



インド
知的障害者教育施設
ブラジル
重症心身障害者施設
韓国
児童養護施設 老人福祉施設

国際理学療法実習 | 3,4年/3月(1週間)



中国・重慶市
第三軍医大学
(交流協定締結校)

国際作業療法実習 | 2,3年/3月(2週間)



実習先調整中
(グローバル教育推進センター)
へお問合せください

研修先のナンヤン理工学院は、1992年に設立されたシンガポールを代表する国立専門職養成高等教育機関です。シンガポール政府との連携により、ヘルスケア専門職養成における中心的な役割を担っており、大規模キャンパスでは約15,000名の学生が最先端の教育施設で学んでいます。



研修を通して

名淵 美紅 看護学部2年

私は最初、この学校でしか出来ない体験をしたいと思い、参加させてもらいました。たくさんの宗教が共存しているシンガポールでは、少し移動するだけで、言語も持ち物も衣類も変わります。少しの不安と期待を寄せながらシンガポールに到着すると、NYPのみんなが空港で看板を掲げて待ってくれています。そこからホストファミリー体験、病院見学、NYPでの講義など、NYPのみんなとのとても充実した生活が始まります。

あっという間の研修期間でしたが、この経験は1年生の私にとって、大学生活を上手くスタートさせる良い機会になりました。シンガポールで出会えた仲間には本当にかげがえのない存在で、先輩後輩問わず本当にとっても仲良くなれます。是非参加してみてください。



ホームステイ体験

貴重な体験ができました

中村 梨那 看護学部2年

私は高校生の時に海外に行く機会があり、もっと色々な国に行きたいと思ってこの研修に参加しました。ホストファミリーは2日間で様々な場所に連れて行ってくれました。

マリナーベイサンズなどの観光地に行ったことも楽しかったけれど、誕生日会に参加したり、ホストの友達の家遊びに行ったり、ダンスの練習帰りにみんなで夕ご飯を食べに行ったりとシンガポールの大学生の日常を体験できたことが何よりも楽しかったです。

ホストファミリーはとても優しく親切でした。伝えたいことが英語で出てこないときがあっても、理解してくれました。家族関係や親の職業が一緒などと共通点があり、話が弾みました。2日間と短い時間であったけれども、かけがえのない経験をすることができました。



施設・病院見学

視野が広がる大きな学び

小久江 直見 リハビリテーション学部作業療学科3年

事前研修でシンガポールの歴史や医療制度について学んでから参加しましたが、実際に現地での講義や病院・施設の見学を通してさらに深く学ぶことができました。病院や施設にある医療機器にはシンガポールが力を入れているIT技術の革新が良く見られ、とても面白かったです。

また、シンガポールの医療制度で、患者に提供する医療の質には違いを付けずに、入院する部屋や設備に差をつけてランク付けをして、治療費の負担額が変わっていくのは興味深く、良い制度だと思いました。これは、国の負担を大きくさせないためにも大切なことだと思いました。実際にランク付けされた病棟を見ることができ、とても勉強になりました。

シンガポールで異なる価値観や考え方を知り、自分の視野が広がり、成長することができました。



観光・料理

様々な文化を感じられる国

岡部 紗永 社会福祉学部こども教育福祉学科3年

私はマリナーベイサンズやその周辺の壮大な夜景や、ビーチ、ユニバーサルスタジオなど様々なアクティビティがあるセントーサ島でシンガポールを満喫しました。中でも、セントーサ島のビーチは想像していたよりも綺麗で、ゆったりとリゾート気分を味わいながらピクニックを楽しみました。

また、MRTを使って少し移動し、リトルインディアやチャイナタウンを訪れるとシンガポールにいながら他の国を旅行しているようでした。降りる駅によって雰囲気ガラッと変わってとても興味深かったです。

そして、日本ではなかなか食べることができないような食べ物を食べることもできました。有名なチリクラブやチキンライスからインドやマレーシアのローカルフードまで様々な料理を味わうことができました。



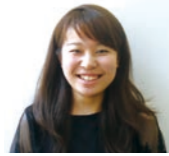
●概要 9日間という短い期間ながら、主要医療施設の見学だけでなく、ナンヤン理工学院の学生との合同演習体験などが含まれ、同じ専門職を目指す同世代の学生との交流が多く持てるようにプログラムが組まれています。

日程	スケジュール (2017.9.2~9.10実績)	
	AM	PM
1 土	中部国際空港発	チャンギ国際空港着 → ホストファミリー宅へ移動
2 日	ホストファミリーと過ごす	
3 月	オリエンテーション、講義:「シンガポールの医療制度」	歓迎昼食会、キャンパスツアー
4 火	講義:「シンガポールの社会制度」	講義:「シンガポールの社会・経済情勢」
5 水	施設見学:Society for the Physically Disabled (障害者就労支援施設)	講義:「シンガポールの健康増進政策」
6 木	施設見学:Singapore Enabling Village (障害者就労支援施設)	施設見学:Khoo Teck Puat総合病院
7 金	NYPシミュレーション学習	お別れパーティー、文化交流会、修了書授与
8 土	国立博物館見学	フリータイム
9 日	チャンギ国際空港発 → 中部国際空港着	

海外研修(中国)

看リ社 全年学 第三軍医大学(TMMU) / 9日間(3月) 約16万円

研修先の第三軍医大学(中国重慶市)は、1954年創立の国立基幹大学であり、医学の他に教育学、理学、工学、戦略管理の専門分野を提供しています。また、研修病院でもある3つの附属病院を擁し、総病床数は5,000床にもおよびます。



私の感じた看護

吉田 穂乃 看護学部3年

中国の病院は日本に比べ規模が大きく、受診する患者の数も多いです。まるで休日のショッピングモールの様な人の多さに人酔いしそうでした。中国では家族が患者に付き添いお世話をします。そのため、より人が多いのです。また、病院では第三軍医大学の4年生が実習しており、実習生が患者へ注射を行っていました。廊下には患者の氏名や治療費の書かれた紙が貼ってある所もありました。国が違えば、文化や法律、気性も違うのです。

しかし看護の方法やシステムが違って、患者に寄り添う「看護」というのは同じであると感じました。医療従事者の関係性が良く、年下の者でも意見を言しやすい環境でした。中国の様々な面を知る有意義な研修となりました。

広大な土地と様々な料理

阿部 滉平 リハビリテーション学部作業療法学科3年

中国はまずとても広いです!さすが、世界で土地の広さ第4位、土地も広ければ様々な料理が生まれてくるわけです。私は、中華料理の一つである四川料理の「火鍋」というものを食べました。これは、野菜や肉、魚をスープでしゃぶしゃぶして食べる料理です。味の感想としては、とても辛い!だが、うまい!というように不思議な感覚に陥ります。このように中国では日本では味わったことのないような食べ物にたくさん出会うことができました。

右上の写真は、火鍋を食べた時の写真です。まるで「最後の晩餐」...なんて、縁起でもない!

異文化の料理を体験することも、国際的視野を広げることに繋がると思うので、皆さんも是非、様々な国の料理にも挑戦してみてください!



●概要 大学及び大学附属病院を中心に、講義の受講、現地学生との交流、保健医療福祉施設の訪問を通して中国の医療福祉について学びます。

日程	スケジュール(2017.3.11~3.19実績)	
	AM	PM
1 土	中部国際空港発	北京国際空港着 → 北京市内見学
2 日	文化施設・世界遺産の見学	北京 → 重慶へ
3 月	オリエンテーション、キャンパスツアー(人体標本を含む解剖学教室など)	施設見学:高齢者ケアセンターの見学 → 歓迎夕食会・学生交流会
4 火	施設見学:西南医院(第1附属病院)の見学	
5 水	講義:「基礎看護学」、「英語」	施設見学:地域病院の見学
6 木	施設見学:新橋病院(第2附属病院)の見学	施設見学:大坪病院(第3附属病院)の見学
7 金	重慶市内の見学	重慶 → 上海へ
8 土	上海市内見学	
9 日	上海国際空港発	中部国際空港着

海外研修(韓国)

看リ社 全年学 カトリックサンジ大学(CSC) / 8日間(8月) 約12万円



カトリックサンジ大学は、本学と同様にキリスト教精神に基づく建学理念を掲げ、多くの共通する学科(社会福祉学科、幼児教育学科、看護学科、作業療法学科)を持つ私立大学です。中でも幼児教育学科は韓国国内の大学では最も古い歴史を持ち、数多くの卒業生が韓国全土の保育現場で活躍しています。

●概要 大学での韓国の保健医療福祉についての講義や演習のほか、病院・社会福祉関連施設の見学や演習を行います。

日程	スケジュール例	
	AM	PM
1 土	中部国際空港発	仁川国際空港着 → ソウル市内見学
2 日	ソウル市内見学	ソウル市 → 安東市(高速バス)
3 月	講義:「韓国の保健医療福祉制度、社会制度、医療制度、健康増進政策など」	
4 火	施設訪問:総合病院、社会福祉施設、障害者関係機関・施設、地域福祉推進機関・施設、	
5 水	高齢者福祉施設、こども関連施設(リハビリテーション施設)、学生文化交流など	
6 木		
7 金	クロージングセッション、修了書授与など	安東市 → ソウル市
8 土	仁川国際空港発	中部国際空港着

海外研修(オーストラリア)

看リ社 全年学 イーデス・コーワン大学(ECU) / 9日間(3月) 約23万円

イーデス・コーワン大学は、1991年創立の公立大学で、3ヶ所に分かれたキャンパスには約3万人の学生が在籍しています。産学共同で開発した教育プログラムによりフィールドワーク、実習、ネットワーキングの機会が多く、オーストラリア国内ランキングの「教育の質」では過去8年間にわたり5つ星評価を得ています。学部は8つ(芸術・人文科学、経営・法律、工学・科学技術、医療及び健康科学、看護及び助産、科学、教育、西部オーストラリア舞台芸術)、合計300もの専攻をもっています。3つのキャンパスの1つ、パース市街地の北部ジュングロップキャンパスには西オーストラリア州で最大の看護学部があります。研修中はパース市街地にあるマウントローリーキャンパスの学生寮に滞在し、英語を学びながらオーストラリアの保健医療福祉について広く学びます。



●概要 大学でのオーストラリアの保健医療福祉についての講義や演習、病院・保健医療福祉施設の見学のほか、英語学習も行います。

研修先のサミュエルメリット大学はアメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコ郊外にある保健医療系の学部・大学院をもつ大学です。人口200万人を擁す北カリフォルニア地域最大の高度医療専門病院と連携し、米国西海岸を代表するヘルスサイエンス系大学として地域保健医療のリーダー的役割を担っています。



Let's try!!

柳澤 文香 看護学部3年

研修への参加は私にとって挑戦でした。私がこの研修に参加しようと思ったのは、異文化に触れることに興味があり、アメリカの医療の仕組みや看護について知りたいと思ったからです。研修で実際に講義や病院・施設の見学を通してアメリカと日本の医療の違いを学んだこと、アメリカの学生たちの看護を学ぶ真摯な姿勢にとても刺激を受けました。これらは実際に研修に参加しなければ得られない体験でした。

海外で研修を受けられる機会も今しかありません。失敗や不安、たくさんありましたが、アメリカでは挑戦する人を全力でサポートしてくれます。それがきっかけで意識が変わった学生がほとんどで、私もその中のひとりです。貴重な体験をし、研修で学んだこと、出会った方々は私にとって宝物になりました。



施設・病院見学

自分を変化させる貴重な体験

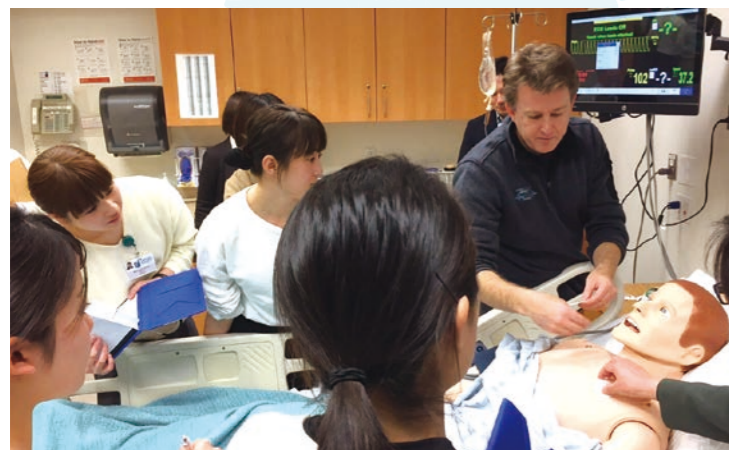


内野 菜津美 看護学部3年

私が一番印象に残っていることは、SMUで行われているシミュレーション演習を実際に体験させてもらったことです。緊迫感に包まれた状況で、患者さんにとって必要なケアを的確に判断することは大変でしたが、最後までやりきることで達成感を得ることができました。

また、小児ホスピスでは、子供たちが短い人生の一瞬一瞬を幸せに、多くの人と互いに支え合って生きていることを知りました。病院では、アメリカ人看護師について1対1でシャドーイングを行い、その仕事を間近で観察させてもらいました。

多くの医療福祉施設を見学してもらい、自分の考え方や価値観を変化させる貴重な時間を過ごすことができました。今後は、研修で学んだことを活かし、失敗を恐れずに何事にも挑戦し、自分のスキルを向上させていきたいです。



観光・料理

見るものすること 全て初めての体験!

阿部 純子 看護学部3年

SMUの学生さんがサンフランシスコの中を案内してくれて、主に賑やかな観光地でショッピングや食事、写真をとったりして楽しみました。フィッシャーマンズワープではSMUの学生さんも食べきれないくらい大きなクラムチャウダーを食べました。パンは酸味があり、中身の濃厚なクラムチャウダーは絶品でした!

また、ギラデリというサンフランシスコで最も有名なチョコレートのお店に行きました。そこではパフェを食べたり、チョコレートのお土産を袋いっぱいを買いました。駅までの帰りは、リムジンタクシーの運転手さんから声をかけてもらい、みんなで大きなリムジンに乗って向かいました!SMUの学生さんとの観光は行くところ、見るものすべて初めてのものばかりで新しい体験ができて、とても楽しく充実した一日でした。



ホームステイ体験

素晴らしい出会いと体験



小西 佑奈 看護学部3年

ホームステイ体験では、2日間SMUの先生方のお宅にお世話になりました。私たちが快く受け入れてくださり、アメリカの文化や生活を肌で感じることができました。ホームパーティーに参加したり、ショッピングをしたり、ケーブルカーに乗ったり!いろいろなところに連れて行ってくださいました。待ち時間や移動時にも会話が弾み、アメリカの医療や看護についての質問もすることができました。

ホームステイ体験前は英語でコミュニケーション出来るか不安でしたが、時間が経つにつれて言葉の壁など感じられないほど仲良くなることができ、今でも連絡を取り合っています!新しい出会いや体験の多い充実した2日間で、本当に素晴らしい時間を過ごすことができました。忘れられない最高の思い出です。



●概要 大学内にある最先端のシミュレーションセンターでの演習のほか、講義の受講、地域病院や高齢者施設など
の見学等を通して、看護先進国であるアメリカの看護や福祉事情について学びます。

日程	スケジュール(2017.3.15~3.24実績)	
	AM	PM
1 木	中部国際空港発	サンフランシスコ国際空港着 ⇒ 終日フリー
2 金	オリエンテーション、キャンパスツアー	講義:「アメリカのヘルスケアシステム」
3 土	サンフランシスコ観光	ホストファミリーと対面
4 日	ホストファミリーと過ごす	
5 月	演習:「SMUの看護教育」SMU学生の臨床経験について	歓迎会、SMU教員のプレゼンテーション
6 火	演習:シミュレーションラボ(静脈内注射、IVポンプ、筋肉内注射、循環器系のアセスメント)	演習:シミュレーションラボ(呼吸器系)
7 水	施設見学:John Muir Concord病院	
8 木	施設見学:George Mark Children's House(小児ホスピス)	
9 金	施設見学:St Mary's Center(支援施設)、施設見学:St Paul's Towe(高齢者施設)	お別れパーティー
10 土	サンフランシスコ国際空港発	
11 日	中部国際空港着	

研修先となるハワイ大学マノア校のジョンAバーンズ医学部内のCommunication Sciences and Disordersは、4年制大学卒業後、2年間でASHA (American Speech and Hearing Association)の受験資格を取得する修士課程です。このコースでは、1学年10~15名と少人数で密度の高い教育がなされています。

施設・病院見学

日本との違いと最新の設備に驚き

山中 明史

リハビリテーション学部言語聴覚学科2年

施設や病院を見学した際、まず情報管理の厳重さに目が行きました。リハビリの訓練などは基本的に個室で行われ、患者さんがどのような訓練を受けたのかなどの情報が他の利用者の方に伝わらないよう細心の注意が払われていました。もちろん日本でも個人情報の保護は行われていますが、その質の高さと丁寧な対応はアメリカの方が上を行くと感じました。

見学する中で、訓練用具や検査機器を目にする機会もありましたが、日本でも良く見かける物もあれば、初めて目にする物も多く、非常に興味深い体験ができました。

この研修を通して、知識としては知っていても、実際に見なければ分からないものもあるのだと気付くことができました。興味がある方はぜひ参加してみてください。



現地学生との交流

伝えるということ

鈴木 麻友

リハビリテーション学部言語聴覚学科2年

私は現地の学生さん達との交流を深めた中で感じたことがあります。それは「相手に伝えようとする気持ちを強く持つことが大切だ」ということです。私は学生さん達と初めて話す時、教科書通りの言葉で上手に話さなければならぬと思い込んでいました。ですが、学生さん達がとても気さくに話しかけてくれ、不慣れな言葉を懸命に理解しようとしてくださった時、この考えは間違いだったということに気が付きました。それからは、授業中やフリータイム、食事の時など自分から「伝えたい」という意識がどんどん芽生え、研修がとても充実したものになりました。また、異文化交流での私たちの出し物では、ゲームの説明が難しかったものの、身振り手振りも交えて伝えきり、最後は現地の学生さんたちも盛り上がり楽しく交流することが出来ました。



概要 大学院内にあるスピーチクリニックでの様子を見学するほか、講義や学生交流を通して言語聴覚について学びます。

日程	スケジュール(2018.3.11~3.20実績)	
	AM	PM
1 日	中部国際空港発	ホノルル国際空港着 ⇒ 終日フリー
2 月	オリエンテーション、見学:ハワイ大学マノア校ジョンAバーンズ医学部	学生交流会、臨床見学:ハワイ大学附属スピーチクリニック
3 火	臨床見学:回復期及びデイケア施設	講義聴講:「自閉症への介入」
4 水	臨床見学:現地小学校やクリニック	臨床見学:ハワイ大学附属スピーチクリニック
5 木	講義聴講:「失語症、認知症、嚥下障害」	ワークショップ:発音矯正クリニック臨床見学:ハワイ大学附属スピーチクリニック
6 金	講義聴講:「運動性発話障害」など	学生との討論、クロージングセッション、修了式
7 土	異文化体験	
8 日	ホノルル国際空港発	
9 火	中部国際空港着	

シンガポール国際リハビリテーション研修

U 全学年 シンガポール工科大学(SIT)/9日間(8月) 約15万円

シンガポール工科大学は、約4,000名の学生が在籍する2009年創立の国立大学です。5つの学部の中の1つ、ヘルスソーシャルサイエンス学部には、本学と共通する理学療法学専攻、作業療法学専攻、看護実習学専攻が置かれています。大学と産業界との連携を最大限に引き出すためIntegrated Work Study Programme (IWSP)と称する体験実習を取り入れており、大学、産業、地域を統合する、経済成長分野を対象とした応用学位プログラムを提供しているのが特徴です。

国際リハビリテーション研修では、異なる文化・地域を訪問し、リハビリテーション関連の医療機関および専門施設などを見学し、シンガポールのリハビリテーション医療の事情に関する知識を習得することを目的としています。また、研修地で同じ専門職を目指す学生との交流を通し、国際的な倫理観や社会性を習得します。将来、同じ専門職としての国際的な仲間を作る意味でもとても魅力的な研修です。



概要 大学や近隣の医療施設などを訪問し、シンガポールのリハビリテーション医療について学びます。

日程	スケジュール	
	AM	PM
1 水	中部国際空港発	チャンギ国際空港着
2 木	オリエンテーション、講義:「シンガポールの保健医療制度」	講義:「シンガポールの保健医療制度」、キャンパスツアー、学生交流会
3 金	施設見学:精神科病院	施設見学:スポーツ選手養成機関
4 土	シンガポール市内見学	
5 日	フリータイム	
6 月	施設見学:高齢者病院	施設見学:障害者施設
7 火	施設見学:高齢者施設	施設見学:地域病院
8 水	講義:「シンガポールの社会・経済情勢」	クロージングセッション、修了式
9 木	チャンギ国際空港発	中部国際空港着

国際看護実習

4年 シンガポール：ナンヤン理工学院 / 2週間 (9月) 約18万円

●概要 シンガポールは国の一大産業として医療整備を図っています。病院実習の受入れ先は、国内2番目の規模を誇り、27の診療科と1,500床を有するタンクセン病院等です。2週間の実習のプログラムでは病院実習のほか、訪問看護や看護師と共に地域の小中学校へ出向く地域保健活動等も含まれます。異文化における実習体験を通して、さらなる看護の魅力を発見します。



森 恵美菜
看護学部卒業



貴重な経験を今後にかす

私は、シンガポールでは、どのような看護が行われていて、どのようなところが日本と異なるのかという点について学びを深めたいと思い、この実習への参加を決めました。

実際に現地では、日本よりもIT化が進んでいて、医療者や患者・家族の負担が軽減されている様子や、シンガポールの生活習慣の特徴から、日本と異なる生活習慣病を引き起こしていることについて考察することができました。

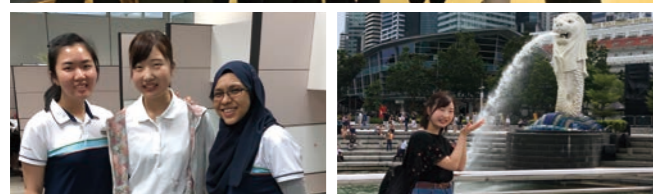
実習全体を通して、それぞれの国の特徴や重要視している点について気付くことができ、自分たちにとって、優先すべきことは何かを考えるきっかけになりました。また、国際看護実習に参加したことで、国際的な広い視野で物事を見ること、一歩踏み出して挑戦すること、自分の興味や関心を追求することの大切さを学ぶことができました。

今後これらのことを忘れず、様々なことに興味をもって挑戦していき、自分の看護観や人生観を広げていきたいと思います。

国際作業療法実習

2・3年 シンガポール：ナンヤン理工学院 / 3週間 (3月) 約20万円

●概要 シンガポールに2週間滞在し、人々の生活に触れながら人々の作業を理解します。地域で生活する人々を援助するために作業療法士は何をするのか、できるのかを、学びながら経験します。人々の生活と経験を理解するために、医学モデル中心の病院のほか、小児施設や訪問リハビリテーション施設でも実習を行います。また、より良い生活と人生を送れるように援助をし、地域に根ざした作業療法を実践している人達の働きを学びます。



野津 幸栄
リハビリテーション学部
作業療学科3年



行動しなければ学べない経験

私は、1年次にシンガポール海外研修に参加しており、シンガポールの作業療法について深く学びたいと感じたため、この国際作業療法実習に参加しました。

私は日本での臨床実習を行っていない中での参加でしたが、日本とは違う施設内の雰囲気や見た事がない治療機器の使用、高齢者施設での利用者との関わり方など多くの事を学ぶ事ができました。

また、シンガポールは多民族国家であるため、様々な言語や文化、宗教の違いを感じた皆さんの刺激をもらう事ができました。

今回は、私1人での参加だったため言語や生活出来るかなどの不安を感じていた実習でしたが、参加しなければ学べないことを学べ、自分の視野を広げる事が出来たととても有意義な実習でした。

国際福祉実習

社 2~4年 インド：聖隷希望の家 / 2週間 約16万円 韓国：東明児童福祉センター 約11万円
ブラジル：希望の家 / 2週間 約19万円 東明老人福祉センター / 2週間

●概要 国際福祉実習は、社会福祉学部の選択科目であり、国際社会に貢献できる人材を養成するためのプログラムです。実際にアジアをはじめとする海外へ出掛け、その国の様々な社会福祉事情や文化を体験することで価値観の多様性や異文化を受容することを学び、国際的な視野を養うことを目的としています。



谷沢 珠子
社会福祉学科卒業



制度にとらわれない考え方を学んだ

聖隷希望の家での生活内容は、利用者さんは4つのクラスに分かれ、数学を勉強したり文字を書いたり、色塗りをしたりと様々だった。日本の文化を知ってもらうため一度だけ授業にお邪魔させて頂き、利用者さんとふれ合いながら折り紙で鶴を作ったり、風船を使ってバレーをしたりした。皆さん私が作っているのをよく見て真似していた。折り紙で何かを作り終わると拍手をしてくださりととても喜んでくれた。礼拝も行い宗教も大切にしていた。日本との施設の違いは、施設長のアブラハムさんは制度に囚われることなく「今」必要なことは何かを考え実践し、「今」困っている人を助けていた。そんなアブラハムさんの姿を見て、制度に囚われていたら本当に困っている人を援助の対象にできないと思った。「できる・できない」は関係なく、利用者さんにやりたいことをやらせてあげていて、施設の職員さんも一緒になって楽しく暮らしていた。

国際理学療法実習

2・3年 中国：第三軍医大学 / 9日間 (3月) 約10万円

●概要 異なる文化に触れ、生活習慣の異なる地域を訪れるだけでなく、リハビリテーション機関及び専門施設において、本学教員(引率教員)の指導による臨床クラークシップ(CCS)での実習を行い、当該地域における理学療法技術を体験し、習得することを目的とします。合わせて、異なる文化圏の医療について理解を深めます。実習を通し、その国の患者さんや医療従事者と触れ合うことで、海外の理学療法士の役割や活動内容、リハビリテーション医療について考える機会になります。

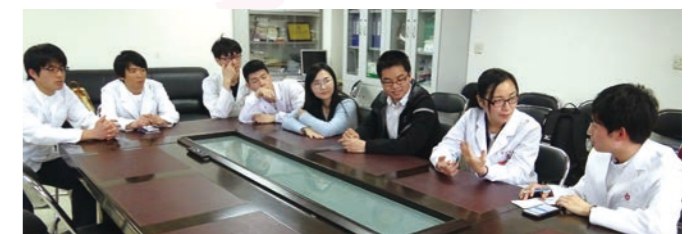


齋藤 圭汰
リハビリテーション学部
理学療学科4年



日本にいたらできなかったこと

初めての海外で不安なことも沢山ありましたが、施設の先生方は私たちをとても温かく迎えてくださり、とても良い実習となりました。特に中国の学生との交流の場では、英語でディスカッションをしたり、日本ではあまり見られない全身火傷の方の触診やROMエクササイズをさせて頂いたりなど、日本に居るだけではできない多くの貴重な体験をさせて頂きました。また、ごちそうになった本場の中国料理は絶品でした。中国という国をあまりよく思っていない人も中には居るかもしれませんが、しかし、そこには素晴らしい人々と環境がありました。少しでも興味があったら、ぜひ中国で行う実習に参加してみてください。



サミュエルメリット大学研修生受入れ

2018.6.18~6.25 (実績)

サミュエルメリット大学とは2013年11月に大学間交流協定を締結し、2015年6月より、毎年看護学部の研修生を10名程受入れています。プログラムでは、学内施設や聖隷グループの保健医療福祉施設の見学、講義の聴講や演習への参加を通して日本の看護について学びを深めます。他にも本学学生との交流会や大学のスクールバスを利用した市内観光、SMUの学生と一緒に受けることのできる講義・演習などのプログラムがあります。



学内演習 (災害看護)



学内演習 (エンゼルメイク)

ナンヤン理工学院研修生・実習生受入れ

2018.3.10~3.16 (実績)

ナンヤン理工学院からは、2006年4月の交流協定締結後、毎年20名程の研修生を1週間受入れています。また、実習生として4週間看護学科の学生を2名受入れています。

各プログラムでは、日本のヘルスケアに関する講義の聴講・演習、聖隷関連の病院・施設の見学を通して日本の保健医療福祉について学びます。また、市内観光、学生交流会、茶道部主催の茶道体験、ワークショップなど、本学学生がNYP学生と共に学び、楽しめるプログラムが用意されています。



社会福祉施設 (総合福祉施設「きじの里」) 見学



摂食嚥下介助講義 (浜松市リハビリテーション病院)

シンガポール工科大学研修生受入れ

2018.5.27~6.1 (実績)

シンガポール工科大学とは2017年9月に交流協定を締結し、2018年5月に初めてヘルスソーシャルサイエンス学部理学療法学科15名、作業療法学科10名の受入れを行いました。

近隣の聖隷グループ病院・施設の見学を始めとして、シンガポールと日本の理学療法・作業療法をテーマとしたディスカッション、ワークショップ、授業参加など、体験学習を重視したプログラムとなっています。本学学生も市内観光、学生交流会も含めて、SITの学生と一緒に体験して学べる機会となっています。



ドクターヘリ見学 (聖隷三方原病院)



学内ディスカッション

国際支援アクティブラーニング

本学はグローバル教育を推進する立場から、2020年度より共通科目「国際支援アクティブラーニングI(国内)・II(海外)」を開講する計画を立てています。

この科目では、3学部の学生が、本学で学んだ保健医療福祉教育の専門性を生かして国際支援プロジェクトに参加し、主体的に協働活動を行うことによって専門職としての国際活動について学修をします。国際支援アクティブラーニングII(海外)は、アジア諸国・オーストラリア等において、保健医療福祉・教育施設や団体などと連携し、課題解決型学習に取り組むためのプロジェクトを予定しています。期間は3週間、1週目は国内での事前研修、残りの2週間で現地で英語でコミュニケーションを取りながら課題解決のための活動を行います。

学内で参加可能な国際交流プログラム

国際交流イベント

本学では、学生の国際感覚を磨き、視野を広げる経験になると位置づけ、様々な国際交流イベントを開催しています。

毎年、海外で活躍する卒業生との交流を行ったり、中国文化体験として餃子作り体験イベントや留学生との交流会を開催したりしています。

今後も英語圏や中国語圏の異文化体験イベントを開催していきます。イベントの情報は、詳細が決定次第、グローバル教育推進センターホームページや学内掲示板にてお知らせします。



海外研修・実習生との交流会

受入れプログラムの中で、本学学生が企画や準備の段階から主体的に参画して実行するのが「交流会」です。交流会では、ゲームやダンスなどの出し物などで大いに盛り上がり、異文化交流の楽しさを肌で感じる事が出来ます。毎回、多くの学生が参加をして海外からの学生を温かく迎えていますので、ぜひ気軽に参加して楽しんでみてください。



英会話サークル「Global English」

毎週第2・第4水曜日及び第1・第3金曜日に1410教室にて、ネイティブを含む英語教員が顧問となり英会話を中心に活動を行っています。英会話のロールプレイの他に、英語の歌を聞いたり、リレー式のクイズをしたり、パズルを解いたり、とにかく楽しみながら英語を学んでいます。また、2018年度は、幼稚園児・小学生を対象とした英語講座を開催する予定です。皆さんも積極的に参加し、他学部や他学年の学生との交流を深めてください。

